

京丹後市教育振興計画

施策評価・進捗管理調書(内部評価結果)

担当課	担当課長
教育総務課	西村 隆
学校教育課	川村 義輝

重点目標	2 確かな学力・生き抜く力を育みます
基本的方針	<p>保幼小中一貫教育を柱とする学校教育改革の推進により子どもの成長に応じた指導の一貫性を確保する体制を充実することで「確かな学力」を育み、あわせて、学校園、家庭及び地域が協働し、相互に連携しながら教育力の向上を図ります。</p> <p>一人ひとりの個性や能力、確かな学力を育むとともに、地域社会への理解と関心を高め、グローバル化や情報化等の社会の変化に対応するなど、将来への夢と希望を基盤として未来を切り拓くことのできる「生き抜く力」を育みます。</p> <p>少子化の進行による学校の小規模化が予想されるなか、令和3年度に策定した学校適正配置基本計画に基づき、今後の学校の適正配置を進めます。</p>

1. 施策の方向性

PLAN

1. 保幼小中一貫教育の推進	<p>①学校教育改革構想に基づき、子どもたちの「確かな学力」と「社会を生き抜く力」を育む保幼小中一貫教育を推進します。</p> <p>②学園(中学校区)を単位とした共通の目指す子ども像を設定し、その実現に向けて系統的で一貫性のある学校園の教育活動を一層進めます。</p> <p>③保幼小中一貫教育等について保護者や地域の理解を深めるとともに連携を強化するため、教育フォーラムを開催するなど、学校教育改革に関する情報提供・共有の機会を拡充します。</p> <p>④学識経験者や市民、保護者及び学校園関係者等が、学校教育改革を適切に検証、評価し、取り組みの改善を進めます。</p> <p>⑤保幼小中一貫教育等における目標の実現状況や教育活動の成果が明らかになるよう、学校・学園評価の充実に努め、地域とともにある学校・学園づくりを推進します。</p>
2. 学校園、家庭、地域の協働による教育力の向上	<p>①子どもの発達や学習の特性等に応じた系統的で一貫性のある教育課程により、すべての学校園で就学前から中学校卒業までの系統的な指導を実施するとともに、小中学校の接続期の指導を充実します。</p> <p>②新学習指導要領に求められる教職員の資質・能力を育成するため、授業実践力や本市の児童生徒の現状を踏まえた生徒指導力を高める研修を充実します。</p> <p>③加配教職員やスクールサポーターを効果的に配置し、児童生徒一人ひとりの学習状況に応じた指導体制を整えます。</p> <p>④京丹後市への理解を深め、郷土への愛着と誇りを高めるとともに、地域生活への意欲を系統的に育む「丹後学」を、地域の人々の協力と参画により、すべての小中学校で実施します。</p> <p>⑤子どもたちの基本的な生活習慣や家庭学習習慣の確立等について、学校園と家庭が連携した取り組みを充実します。</p> <p>⑥学校園、家庭及び地域が育みたい子ども像や課題を共有し、連携・協力して進める地域の教育環境づくりを推進します。</p> <p>⑦地域と学校の連携・協働の下、学校の教育活動に地域のボランティアが参画する「地域学校協働本部事業」を推進します。</p> <p>⑧放課後における学習や体験活動の充実に向け、学校、家庭及び地域が連携し、地域ぐるみの学習環境の体制づくりを進めます。</p>
3. 確かな学力の育成	<p>①保幼小中一貫教育により校種間を円滑に接続し、就学前から中学校卒業までの10年間を見通した学習指導を充実します。</p> <p>②全国学力・学習状況調査の結果が、現在、全国・府平均を概ね上回っている学力についても、診断結果をもとに児童生徒の学力状況をきめ細かく把握するとともに、分析結果を活用した指導改善により、児童生徒一人ひとりに応じたきめ細かな指導を継続的に行います。</p> <p>③すべての教科や特別活動に「言語活動」や「コミュニケーション活動」の充実を位置付け、系統的・継続的な指導を行います。</p> <p>④「丹後学」において京丹後市の学習素材を活かした体験的な学習や問題解決的な学習を行うなど、児童生徒が目的意識を持って主体的に取り組む学習を充実します。</p> <p>⑤主体的に学びに向かう力や思考力、判断力、表現力等、習得した知識や技能を活用する力を育成するため、教育実践モデル校等を指定し、その実践と成果をすべての学校園に普及します。</p> <p>⑥家庭学習が定着するよう、学校園と家庭が連携して児童生徒の主体的な学習習慣を育成します。</p> <p>⑦学校支援ボランティアや大学のもつ専門性を活用したり、小中学校と高等学校が積極的に連携・交流したりするなど、児童生徒の知的好奇心や学習意欲を育むための取り組みを充実します。</p>
4. 社会を生き抜く力の育成	<p>①子どもたちが将来、社会的に自立し、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方・働き方を実現する力を身に付けるため、就学前教育から義務教育修了時まで各学校段階を通じた体系的・系統的なキャリア教育を推進します。</p> <p>②「丹後学」において、郷土とそこに生きる人々を通じた探究活動を充実し、自己の生き方・あり方について深く考える力を育てるとともに、児童生徒の将来への夢や希望を育みます。</p> <p>③児童生徒の学習に対する興味・関心や意欲と学習効果を高めるとともに、学習の基盤となる資質・能力である情報活用能力を育成するため、情報通信ネットワークやコンピュータなどのICT環境を整備します。</p> <p>④小学校低学年から英語に親しむ活動を充実するなど、国際社会に生きる日本人としての基礎的な能力を系統的に育成します。</p> <p>⑤国際感覚を持ちグローバル社会で活躍できる人材を育成するため、多文化共生社会の視点に立ち、諸外国の文化や伝統を理解し興味・関心を深める国際理解教育を推進します。</p> <p>⑥環境の保全や主体的に環境に働きかける実践的態度・能力を育成するため、身近な環境に関心を持ち人間と環境との関わりについて理解を求める環境教育を推進します。</p>

【参考】施策に関連するその他の計画

計画名称	計画概要	策定年月	計画期間	備考
第2次京丹後市総合計画	市の目指す基本理念、目標、将来像などを示した「基本構想」と、その構想を実現するための各種施策を総合的、計画的に体系化した「基本計画」	平成27年3月	平成27年度～平成36年度	
京丹後市学校教育改革構想	中学校卒業時に期待される学力をすべての生徒が確実に身に付けることができるようにしていくため、保育所・幼稚園、小学校、中学校の10年間を見据え、より系統的で一貫性のある教育を実践するための構想を策定	平成24年11月	計画期間の定めなし	

2. 主な取組と構成事務事業一覧

PLAN

DO

※各事業の成果・課題については、別紙決算附属資料参照

CHECK

ACT

1. 保幼小中一貫教育の推進		決算額(単位:千円)			事務の改善	
主な取り組み		R3決算額	R4決算額	R5予算額	評価を踏まえた今後の方向性	
↓	事務事業名称・事業内容(実績)	担当課				
<p>① 学校教育改革構想に基づき、子どもたちの「確かな学力」と「社会を生き抜く力」を育む保幼小中一貫教育を推進します。</p> <p>② 学園(中学校区)を単位とした共通の目指す子ども像を設定し、その実現に向けて系統的で一貫性のある学校園の教育活動を一層進めます。</p> <p>③ 保幼小中一貫教育等について保護者や地域の理解を深めるとともに連携を強化するため、教育フォーラムを開催するなど、学校教育改革に関する情報提供・共有の機会を拡充します。</p> <p>④ 学識経験者や市民、保護者及び学校園関係者等が、学校教育改革を適切に検証、評価し、取り組みの改善を進めます。</p> <p>⑤ 保幼小中一貫教育等における目標の実現状況や教育活動の成果が明らかになるよう、学校・学園評価の充実に努め、地域とともにある学校・学園づくりを推進します。</p>						
1	保幼小中一貫教育推進事業《再掲》	学校教育課	-	-	-	現状維持
「京丹後市の学校教育改革構想」に基づき、保幼小中一貫教育の推進に向け、協議会及び専門部会で調査研究を行う。また、研修等を実施し、指導の一貫性を通じて子どもたちの確かな学力、豊かな心を育成するとともに、「丹後学」の充実を図る。						
2	保幼小中一貫教育実践事業	学校教育課	4,886	5,046	5,827	現状維持
「京丹後市の学校教育改革構想」に基づき、市内全域で保幼小中一貫教育を実践する。また、郷土への理解、愛着と誇りを高めるとともに将来の自己の生き方・在り方の探求を進める「丹後学」の充実を図る。						
2. 学校園、家庭、地域の協働による教育力の向上		決算額(単位:千円)			事務の改善	
主な取り組み		R3決算額	R4決算額	R5予算額	評価を踏まえた今後の方向性	
↓	事務事業名称・事業内容(実績)	担当課				
<p>① 子どもの発達や学習の特性等に応じた系統的で一貫性のある教育課程により、すべての学校園で就学前から中学校卒業までの系統的な指導を実施するとともに、小中学校の接続期の指導を充実します。</p> <p>② 新学習指導要領に求められる教職員の資質・能力を育成するため、授業実践力や本市の児童生徒の現状を踏まえた生徒指導力を高める研修を充実します。</p> <p>③ 加配教職員やスクールサポーターを効果的に配置し、児童生徒一人ひとりの学習状況に応じた指導体制を整えます。</p> <p>④ 京丹後市への理解を深め、郷土への愛着と誇りを高めるとともに、地域生活への意欲を系統的に育む「丹後学」を、地域の人々の協力と参画により、すべての小中学校で実施します。</p> <p>⑤ 子どもたちの基本的な生活習慣や家庭学習習慣の確立等について、学校園と家庭が連携した取り組みを充実します。</p> <p>⑥ 学校園、家庭及び地域が育みたい子ども像や課題を共有し、連携・協力して進める地域の教育環境づくりを推進します。</p> <p>⑦ 地域と学校の連携・協働の下、学校の教育活動に地域のボランティアが参画する「地域学校協働本部事業」を推進します。</p> <p>⑧ 放課後における学習や体験活動の充実に向け、学校、家庭及び地域が連携し、地域ぐるみの学習環境の体制作りを進めます。</p>						
3	学習支援体制整備事業	学校教育課	330	729	860	現状維持
「教育と学びのまち 京丹後」の実現に向け、放課後を活用した教育活動を実施することにより、子どもたちの学びを支援する仕組みづくりを進める。						
4	地域学校協働本部事業	生涯学習課	3,403	3,643	4,259	現状維持
「教育と学びのまち 京丹後」の実現に向け、「学校のニーズ」と「地域の人の持つ力」を結び付け、学校・家庭及び地域が協力して子どもを育む環境の充実を図る。						
3. 確かな学力の育成		決算額(単位:千円)			事務の改善	
主な取り組み		R3決算額	R4決算額	R5予算額	評価を踏まえた今後の方向性	
↓	事務事業名称・事業内容(実績)	担当課				
<p>① 保幼小中一貫教育により校種間を円滑に接続し、就学前から中学校卒業までの10年間を見通した学習指導を充実します。</p> <p>② 全国学力・学習状況調査の結果が、現在、全国・府平均を概ね上回っている学力についても、診断結果をもとに児童生徒の学力状況をきめ細かく把握するとともに、分析結果を活用した指導改善により、児童生徒一人ひとりに応じたきめ細かな指導を継続的に進めます。</p> <p>③ すべての教科や特別活動に「言語活動」や「コミュニケーション活動」の充実を位置付け、系統的・継続的な指導を行います。</p> <p>④ 「丹後学」において京丹後市の学習素材を活かした体験的な学習や問題解決的な学習を行うなど、児童生徒が目的意識を持って主体的に取り組む学習を充実します。</p> <p>⑤ 主体的に学びに向かう力や思考力、判断力、表現力等、習得した知識や技能を活用する力を育成するため、教育実践モデル校等を指定し、その実践と成果をすべての学校園に普及します。</p> <p>⑥ 家庭学習が定着するよう、学校園と家庭が連携して児童生徒の主体的な学習習慣を育成します。</p> <p>⑦ 学校支援ボランティアや大学のもつ専門性を活用したり、小中学校と高等学校が積極的に連携・交流したりするなど、児童生徒の知的好奇心や学習意欲を育むための取り組みを充実します。</p>						
5	教科用図書採択事業	学校教育課	-	-	-	統合(整理)
丹後教科用図書採択地区協議会において教科用図書の調査・研究を行い、市立小中学校で使用される教科用図書の公正かつ適正な採択を行う。						

3. 確かな学力の育成		決算額(単位:千円)			事務の改善	
主な取り組み		R3決算額	R4決算額	R5予算額	評価を踏まえた今後の方向性	
↓	事務事業名称・事業内容(実績)	担当課				
6	学務経費	学校教育課	5,429	4,763	4,972	現状維持
	学校保健安全法に基づく就学時健康診断を行うとともに、学齢簿の管理、学校管理下での安全衛生や事故災害に対応する。また、丹後教科用図書採択地区協議会において教科用図書の調査・研究を行い、市立小中学校で使用する教科用図書の公正かつ適正な採択を行う。					
7	小学校丹後学等教育活動実践事業	学校教育課	-	1,635	1,994	統合(整理)
	授業改善や教員の指導力向上を図るため、府の研究指定校を受けて教育実践に取り組むとともに、「丹後学」の充実を図る。また、教育課題の解決に向けた研究事業に取り組むほか、修学旅行における引率教員の施設入場料等に係る経費を支援する。					
8	中学校丹後学等教育活動実践事業	学校教育課	-	1,241	1,376	統合(整理)
	教員の指導力向上や生徒の自己肯定感を高めるため、府の研究指定を受け教育実践に取り組むとともに、「丹後学」の充実を図る。また、教育課題の解決に向けた研究事業に取り組むほか、修学旅行における引率教員の施設入場料等に係る経費を支援する。					
9	小学校教育振興事業	学校教育課	14,953	17,722	59,089	現状維持
	副読本や学習教材を有効に活用するとともに、地域の特性を取り入れた学習指導を実践し、学力等の向上を図る。					
10	小学校教育振興備品整備事業	学校教育課	11,010	10,508	9,220	現状維持
	授業に必要な教材備品や学校図書を計画的に整備することで、児童の主體的、意欲的な学習活動を充実させ、学力の向上を図るとともに豊かな心を育む。					
11	小学校就学援助事業	学校教育課	19,704	19,691	24,006	現状維持
	要保護者、準要保護者及び特別支援学級に入級する児童の保護者等の経済的負担を軽減する。					
12	中学校教育振興事業	学校教育課	20,735	25,955	25,101	現状維持
	副読本や学習教材を有効に活用するとともに、地域の特性を取り入れた学習指導の実践や部活動、体育大会等への参加を支援し、学力等の向上を図る。					
13	中学校教育振興備品整備事業	学校教育課	8,418	10,874	8,238	現状維持
	授業に必要な教材備品や学校図書を計画的に整備することで、生徒の主體的、意欲的な学習活動を充実させ、学力の向上を図るとともに豊かな心を育む。					
14	中学校就学援助事業	学校教育課	20,348	18,894	21,265	現状維持
	要保護者、準要保護者及び特別支援学級に入級する生徒の保護者等の経済的負担を軽減する。					
4. 社会を生き抜く力の育成		決算額(単位:千円)			事務の改善	
主な取り組み		R3決算額	R4決算額	R5予算額	評価を踏まえた今後の方向性	
↓	事務事業名称・事業内容(実績)	担当課				
<p>① 子どもたちが将来、社会的に自立し、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方・働き方を実現する力を身に付けるため、就学前教育から義務教育修了時まで各学校段階を通じた体系的・系統的なキャリア教育を推進します。</p> <p>② 「丹後学」において、郷土とそこに生きる人々を通じた探究活動を充実し、自己の生き方・あり方について深く考える力を育てるとともに、児童生徒の将来への夢や希望を育みます。</p> <p>③ 児童生徒の学習に対する興味・関心や意欲と学習効果を高めるとともに、学習の基盤となる資質・能力である情報活用能力を育成するため、情報通信ネットワークやコンピュータなどのICT環境を整備します。</p> <p>④ 小学校低学年から英語に親しむ活動を充実するなど、国際社会に生きる日本人としての基礎的な能力を系統的に育成します。</p> <p>⑤ 国際感覚を持ちグローバル社会で活躍できる人材を育成するため、多文化共生社会の視点に立ち、諸外国の文化や伝統を理解し興味・関心を深める国際理解教育を推進します。</p> <p>⑥ 環境の保全や主體的に環境に働きかける実践的態度・能力を育成するため、身近な環境に関心を持ち人間と環境との関わりについて理解を求める環境教育を推進します。</p>						
15	学校情報化推進事業	学校教育課	42,202	56,940	49,739	現状維持
	小中学校の情報通信ネットワークの整備・維持管理を行うとともに、情報管理の徹底と学校情報化を行う。また、ICTを活用した学習環境を推進する。					
16	児童生徒国際交流事業	学校教育課	44	-	-	統合(整理)
	国際交流事業を推進することにより、語学力の向上はもとより、国際感覚を持ちグローバル社会で活躍できる人材を育成する。					
17	グローバル人材育成事業	学校教育課	-	7,296	16,566	拡大
	STEAM教育をはじめ、国際交流事業を推進することにより、語学力の向上はもとより、国際感覚を持ちグローバル社会で活躍できる人材を育成する。					
18	外国語指導助手招致事業	教育総務課	24,805	25,458	29,002	現状維持
	一般財団法人自治体国際化協会(JETプログラム)の斡旋を受け、外国語指導助手(ALT)を招致・任用し、小中学校で授業等の補助を行うことで、外国語教育及び国際理解教育の促進を図る。					
19	国際交流員招致事業	学校教育課	1,883	4,020	4,494	現状維持
	一般財団法人自治体国際化協会の「語学指導等を行う外国青年招致事業(JETプログラム)」を活用して国際交流員を任用し、現代社会のグローバル化に対応する。					
上記の「主な取り組み」への位置付けが困難な事業		決算額(単位:千円)			事務の改善	
↓	事務事業名称・事業内容(実績)	担当課	R3決算額	R4決算額	R5予算額	評価を踏まえた今後の方向性
20	奨学金事業	教育総務課	6,011	27,499	55,986	拡大
	経済的に困窮している世帯で勉学意欲のある生徒や学生に対し、奨学金の給付及び貸付を行い、就学を支援する。					

上記の「主な取り組み」への位置付けが困難な事業		決算額(単位:千円)			事務の改善	
事務事業名称・事業内容(実績)		担当課	R3決算額	R4決算額	R5予算額	評価を踏まえた今後の方向性
21	奨学基金 経済的理由により大学等への修学が困難な者に対し、奨学金を給付することを目的とした奨学基金への積立金	教育総務課	895	721	12	改善・効率化
22	谷口謙・未来応援基金 経済的理由により大学等への進学及び修学が困難な者に対し、奨学金を貸し付けることを目的とした谷口謙・未来応援基金への積立金	教育総務課	3,351	2,845	2,580	改善・効率化
計			188,407	245,480	324,586	

3. 教育振興計画で掲げている主な目標指標

基本的方針	<p>保幼小中一貫教育を柱とする学校教育改革の推進により子どもの成長に応じた指導の一貫性を確保する体制を充実することで「確かな学力」を育み、あわせて、学校園、家庭及び地域が協働し、相互に連携しながら教育力の向上を図ります。 一人ひとりの個性や能力、確かな学力を育むとともに、地域社会への理解と関心を高め、グローバル化や情報化等の社会の変化に対応するなど、将来への夢と希望を基盤として未来を切り拓くことのできる「生き抜く力」を育みます。 少子化の進行による学校の小規模化が予想されるなか、令和3年度に策定した学校適正配置基本計画に基づき、今後の学校の適正配置を進めます。</p>						
	目標指標	単位	計画作成時 年度	実績値(現状) 年度	目標値 年度		
主な目標指標	学校園関係者による中学校区(学園)ごとの検証・評価・取り組みの改善のサイクルの確立(実施中学校区)	中学校区	0 H25	6学園 R4	6(全中学校区で実施) R6		
	学校の授業時間以外の勉強時間が1時間以上の児童の割合<小学生>	%	73.2 「全国学力・学習状況調査」児童質問紙(小6) H25	67.6 R4	80%以上 R6		
	学校の授業時間以外の勉強時間が1時間以上の生徒の割合<中学生>	%	50.6 「全国学力・学習状況調査」生徒質問紙(中3) H25	53.5 R4	70%以上 R6		
	一貫性・系統性のある指導による確かな学力の定着	%	小中学校各教科の全国平均正答率 -	中学校英語のみ全国平均以上 R4	市平均の全教科全国平均以上 R6		
	将来の夢や目標を持っている生徒の割合<中学生>	%	70.0 「全国学力・学習状況調査」生徒質問紙(中3) H25	68.7 R4	90%以上 R6		

4. 施策の進捗状況の評価と今後の課題[基本的方針の達成に向け、施策がどの程度進捗しているか]

CHECK **ACT**

進捗状況区分	評価	令和4年度成果と今後の課題
◎ 予定以上に進んでいる	○	<p>《学校園関係者による中学校区(学園)ごとの検証・評価・取り組みの改善のサイクルの確立(実施中学校区)》 各学校の関係者評価は、保幼小中一貫教育の諸計画及び各学園の重点等を基盤に作成している。また、各学園の学校関係者評価の必須項目に「保幼小中一貫教育の推進」を設定することで、学園の取組み等の検証・評価を各校園単位でPDCAサイクルにより進めることができた。今後は、全ての学園に設置されている学校運営協議会による学園評価について、更に充実させるための体制整備が必要である。</p> <p>《学校の授業時間以外の勉強時間が1時間以上の児童生徒の割合》 小学校の家庭学習時間は年々減少傾向にあり、授業と家庭学習を連動させた指導の改善が求められる。課題の個別最適化についても考えていく必要がある。市学力向上対策会議の重点課題として取り組み、各校・各学園での取組みを一層充実させ、自主的・自発的な家庭学習の習慣化を目指し、適時性を意識した系統的な指導を充実させる。その際、オンラインによるタブレットの持ち帰り学習も効果的に進める。</p> <p>《一貫性・系統性のある指導による確かな学力の定着》 新学習指導要領の下での指導が始まり、求められる資質・能力の向上を目指す授業改善に取り組んでいるかどうかの見直しが必要である。質問紙の学習活動に係る項目に沿って授業を見直すことが大切である。また、課題に焦点化した学力向上の取組みを保幼小中一貫教育を手段として、各校・各学園で一層推進していく必要がある。そのために市学力向上対策会議等で各学園の実践から学び合う機会を設定する。</p> <p>《将来の夢や目標を持っている生徒の割合》 年々減少の傾向にあったが、若干増加した。目的意識を持たせるための意図的な働きかけが必要である。児童生徒が、学校、家庭及び地域において学んだことを振り返り、新たな学習や生活への意欲につなげ将来の生き方を考える活動の中で、児童生徒が学びを記録し蓄積する教材として「キャリアパスポート」を活用し、対話的に関わり個の成長を促す系統的な指導を進める等、キャリア教育のより一層の推進・充実を図る必要がある。</p>
○ 予定どおり進んでいる		
▲ 少し遅れている		
× 大幅に遅れている		

5. 今後の施策展開の考え方(令和5年～令和6年度までの主な取組)

ACT

区分	No.	具体的内容
施策展開の考え方	1	28年度からの小中一貫教育の全市展開では、実質的に保育所・幼保連携型認定こども園の就学前1年を含めた10年間の一貫教育を行っていることから、令和3年1月に名称を「保幼小中一貫教育」に改めた。学園単位によるPDCAサイクルの実施とその検証・評価に基づく保幼小中一貫教育推進基本計画等の適切な改訂を行う。また、各学園を会場とした市教育フォーラム等の啓発活動により、教職員・保護者・地域住民への成果の明確化を図る。
	2	学園コーディネーター等の配置を継続するとともに、各学園に設置された学校・地域連携協議会の学園運営協議会(コミュニティ・スクール)への移行が令和2年度に完了したことから、学校、家庭、地域が連携した学習環境の体制作り、目指す子ども像に基づく学校・地域が連携した取組みを一層推進する。
	3	保幼小中一貫教育モデルカリキュラム及び保幼小接続モデルプラン等を活用した各学園での系統的で一貫性のある指導を充実させるため、授業改善・授業研究を更に推進するとともに、全国学力・学習状況調査の学園分析結果を活用し個に応じたきめ細かな指導の充実を図る。
	4	総合的な学習の時間を活用した「丹後学モデルカリキュラム」の自校園化に向けた取組みと興味・関心・意欲を高めるICT機器の整備推進を図るとともに、中学生の海外派遣やSTEAM教育の推進・英語力の向上に取り組むとともに、児童生徒の国際交流等を推進することにより、国際社会を生きる日本人としての基礎的な能力の育成を図る。

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	01 教育総務費	5,046千円	5,810千円	764千円	86.8%		
	目	02 事務局費				(参考)当初予算額		
	事業	15 保幼小中一貫教育実践事業				5,810千円		
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源	府補 ぎょうと地域連携交付金（保幼小中一貫教育実践事業）		2,300千円		
目的	「京丹後市の学校教育改革構想」に基づき、市内全域で保幼小中一貫教育を実践する。 また、郷土への理解、愛着と誇りを高めるとともに将来の自己の生き方・在り方の探求を進める「丹後学」の充実を図る。							
主要な事務・事業の概要	○保幼小中一貫教育の実践（報償費、消耗品費、印刷製本費等） 3,243千円 ・峰山学園：情報モラル講習会、授業体験等 674千円 ・大宮学園：SNS研修会、授業体験等 493千円 ・網野学園：授業研修会、授業体験等 734千円 ・丹後学園：部活動体験、授業実践力向上講演会等 383千円 ・弥栄学園：情報モラル講演会、授業体験等 408千円 ・久美浜学園：SNS講演会、体験入学等 551千円 ○特色ある学校づくりの支援（報償費、消耗品費、委託料等） 1,753千円 実施校：全校 主な取組内容：郷土学習、環境学習、農業体験、人権学習、ばら寿司作り、福祉体験講座、性教育、SDGsに関する取組等		○京丹後市保幼小中一貫教育研修会（講師謝金、通信運搬費） 50千円 開催日：令和4年8月9日（火） 対象：市内学校園所教職員、教育関係者 参加者：90人 講師：妹尾 昌俊 氏（教育研究家、一般社団法人ライフ&ワーク代表理事）					
	成果・課題		○保幼小中一貫教育の実施により、各学園が教育目標「目指す子ども像」を設定し、カリキュラムや指導方法を統一することで、学園内の小中学校が一体となった教育活動を系統的に行うことができた。 ○特色ある学校づくりとして、地域に関する学習を支援することにより「丹後学」の充実を図ることができた。 ○授業体験等の小中連携、合同SNS講演会等の小中連携等、学園内の保幼小中学校が連携した教育活動を実施することができた。					

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局																				
	項	01 教育総務費	729千円	776千円	47千円	93.9%																						
	目	02 事務局費				(参考)当初予算額																						
	事業	11 学習支援体制整備事業				1,476千円																						
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源	府補 地域で支える学校教育推進事業費補助金（2/3）		487千円																						
目的	「教育と学びのまち 京丹後」の実現に向け、放課後を活用した教育活動を実施することにより、子どもたちの学びを支援する仕組みづくりを進める。																											
主要な事務・事業の概要	○中学生の放課後学習支援（講師謝金、消耗品費） 729千円 放課後を活用した学習を希望する生徒を対象に、学習習慣の確立と基礎学力の定着、学力向上による高校進学率の向上を目的として、放課後の学習支援を行った。		<table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>回数</th> <th>参加人数（延べ）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>峰山中学校</td> <td>26回</td> <td>314人</td> </tr> <tr> <td>大宮中学校</td> <td>13回</td> <td>780人</td> </tr> <tr> <td>網野中学校</td> <td>19回</td> <td>898人</td> </tr> <tr> <td>丹後中学校</td> <td>36回</td> <td>850人</td> </tr> <tr> <td>弥栄中学校</td> <td>40回</td> <td>706人</td> </tr> <tr> <td>久美浜中学校</td> <td>93回</td> <td>2,704人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>227回</td> <td>6,252人</td> </tr> </tbody> </table>		学校名	回数	参加人数（延べ）	峰山中学校	26回	314人	大宮中学校	13回	780人	網野中学校	19回	898人	丹後中学校	36回	850人	弥栄中学校	40回	706人	久美浜中学校	93回	2,704人	合計	227回	6,252人
	学校名	回数	参加人数（延べ）																									
峰山中学校	26回	314人																										
大宮中学校	13回	780人																										
網野中学校	19回	898人																										
丹後中学校	36回	850人																										
弥栄中学校	40回	706人																										
久美浜中学校	93回	2,704人																										
合計	227回	6,252人																										
※時期・回数・時間等計画内容は、学校によって異なる。		成果・課題		中学生の学習習慣の確立と基礎学力の定着に寄与した。また、ICT機器を活用し、個々の学習進度に応じた学習を行うことができた。																								

予 算 科 目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局																									
	項	01 教育総務費	3,643千円	3,666千円	23千円	99.3%																											
	目	02 事務局費				(参考)当初予算額																											
	事業	10 地域学校協働本部事業				3,780千円																											
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源 府補	地域で支える学校教育推進事業費補助金(2/3)		1,680千円	課	生涯学習課																									
目的	「教育と学びのまち 京丹後」の実現に向け、「学校のニーズ」と「地域の人の持つ力」を結び付け、学校・家庭及び地域が協力して子どもを育む環境の充実を図る。																																
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	地域全体で学校教育を支援するため、様々な特技や技能を持った地域の人材を「学校支援ボランティア」として登録し、全てのこども園、小・中学校で、学習支援やクラブ活動支援、学校の環境整備などを実施した。		○地域コーディネーター謝金(6人分) 2,843千円		○地域コーディネーター旅費 348千円		○消耗品費、印刷製本費 452千円																										
	<活動概要>		・実施期間 令和4年4月1日～令和5年3月31日		・実施場所 市内全小学校(17校)、中学校(6校) こども園(6園)		・地域コーディネーター 6人(配置先:6中学校)																										
	・ボランティア登録者数 598人(令和4年度新規登録者数23人)		・広報紙の発行 2回(ボランティア募集、活動報告)		※ボランティアの登録状況(令和5年3月末現在)																												
	町域		峰山	大宮	網野	丹後	弥栄	久美浜	市外	合計																							
人数		136人	94人	154人	71人	68人	67人	8人	598人																								
【ボランティア活動の内容等】		・学習支援(教科指導補助、「総合的な学習」講師補助、部活動指導支援等)		・環境支援(学校環境整備、学校図書室整理、安全確保、学校行事等の補助等)		<table border="1"> <tr> <th>区 域</th> <th>活動日数</th> <th>活動人数(延べ)</th> </tr> <tr> <td>峰山学園</td> <td>621日</td> <td>2,978人</td> </tr> <tr> <td>大宮学園</td> <td>130日</td> <td>204人</td> </tr> <tr> <td>網野学園</td> <td>636日</td> <td>4,082人</td> </tr> <tr> <td>丹後学園</td> <td>74日</td> <td>275人</td> </tr> <tr> <td>弥栄学園</td> <td>299日</td> <td>533人</td> </tr> <tr> <td>久美浜学園</td> <td>516日</td> <td>2,384人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>2,276日</td> <td>10,456人</td> </tr> </table>		区 域	活動日数	活動人数(延べ)	峰山学園	621日	2,978人	大宮学園	130日	204人	網野学園	636日	4,082人	丹後学園	74日	275人	弥栄学園	299日	533人	久美浜学園	516日	2,384人	合 計	2,276日	10,456人	成果・課題	
区 域	活動日数	活動人数(延べ)																															
峰山学園	621日	2,978人																															
大宮学園	130日	204人																															
網野学園	636日	4,082人																															
丹後学園	74日	275人																															
弥栄学園	299日	533人																															
久美浜学園	516日	2,384人																															
合 計	2,276日	10,456人																															
○地域住民の経験や特技を学校の教育活動等に活かすことで、地域による学校教育支援はもとより、多世代交流に繋がり、市民の生きがいづくりになっている。		○学校活動の多様なニーズを把握するとともに、それに対応するボランティアを確保する必要がある。		○地域コーディネーターの今後の在り方が課題である。																													

予 算 科 目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	02 小学校費	1,635千円	1,851千円	216千円	88.3%		
	目	02 小学校教育振興費				(参考)当初予算額		
	事業	05 小学校丹後学等教育活動実践事業				1,895千円		
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源 府補 府委	豊かな学び・文化体験活動推進事業補助金(10/10)、(1/2)		343千円	課	学校教育課
目的	授業改善や教員の指導力向上を図るため、府の研究指定校を受けて教育実践に取り組むとともに、「丹後学」の充実を図る。また、教育課題の解決に向けた研究事業に取り組むほか、修学旅行における引率教員の施設入場料等に係る経費を支援する。			次世代型小・中・高連携外国語教育推進事業費委託金(10/10)		100千円		
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	○体験活動、総合的な学習活動(丹後学)(講師謝金等) 1,152千円		・豊かな学び・文化体験活動推進事業(体験授業) 119千円		府補助事業(補助率10/10) 実施校:長岡、大宮第一、橘、かぶと山		○教育研究事業負担金 146千円	
	・豊かな学び・文化体験活動推進事業(文化・古典) 450千円		府補助事業(補助率1/2) 実施校:峰山、いさなご、しんざん、長岡、網野南、橘、吉野、弥栄、高龍、かぶと山		・総合的な学習活動推進事業 583千円		市単独事業、全小学校で実施	
	○教育実践研究指定事業 100千円		・次世代型小・中・高連携外国語教育推進事業(消耗品費等) 府委託事業(補助率10/10) 実施校:いさなご・しんざん 実施年度:令和2年度~4年度(3か年)		○修学旅行引率補助金 237千円		17校、引率教員61人	
	成果・課題		○地域社会における仕事や文化の体験活動を通じて、丹後学の充実を図るとともに、府の研究指定校を受けて教育活動に取り組むことで、児童の基礎学力の向上を図り、豊かな人間性を育む教育のより一層の推進につながった。		○児童の基礎学力の向上や豊かな人間性を育てる教育を継続していくため、教職員の資質の向上や創意工夫による実践活動が必要である。			

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	教育委員会事務局
	項	03 中学校費						84.4%				
	目	02 中学校教育振興費	1,241千円	1,470千円	229千円	(参考)当初予算額						
	事業	05 中学校丹後学等教育活動実践事業				1,189千円			課	学校教育課		
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実										
目的		教員の指導力向上や生徒の自己肯定感を高めるため、府の研究指定を受け教育実践に取り組むとともに、「丹後学」の充実を図る。また、教育課題の解決に向けた研究事業に取り組むほか、修学旅行における引率教員の施設入場料等に係る経費を支援する。		主な財源		府補 豊かな学び・文化体験活動推進事業補助金(1/2) 136千円 府委 次世代型小・中・高連携外国語教育推進事業費委託金(10/10) 50千円 府委 未来を拓く学校づくり推進事業委託金(10/10) 200千円 府委 未来の担い手育成プログラム研究事業費委託金(10/10) 200千円						
主要な事務・事業の概要		○体験活動、総合的な学習活動(丹後学)(講師謝金等) 573千円 ・豊かな学び・文化体験活動推進事業(文化・古典) 291千円 府補助事業(補助率1/2) 実施校:全中学校 着付け体験学習 受講生徒:426人 ・総合的な学習活動推進事業 282千円 市単独事業、全中学校で実施		○教育研究事業負担金 83千円 京丹後市中学校教育研究会 中学校教育に関する研究を推進し、教職員の資質の向上と中学校教育の推進を図るため、各教科の研究、研究集録・指導案の作成を実施。		○修学旅行引率補助金 135千円 6校、引率教員51人						
		○教育実践研究指定事業(消耗品費、バス運転委託料) 450千円 ・次世代型小・中・高連携外国語教育推進事業 50千円 実施校:峰山中学校 ※府委託事業(補助率10/10) 実施年度:令和2年度~4年度(3か年) ・未来を拓く学校づくり推進事業 200千円 実施校:網野中学校 ※府委託事業(補助率10/10) 実施年度:令和4年度~6年度(3か年) ・未来の担い手育成プログラム研究校 200千円 実施校:丹後中学校 ※府委託事業(補助率10/10) 実施年度:令和4年度~6年度(3か年)		成果・課題 ○地域社会における仕事や文化の体験活動を通じて、郷土への理解・愛着を高め将来の自己の在り方の探究を進める丹後学の充実を図った。 ○府の研究指定を受けて教育活動に取り組むことで、生徒の基礎学力の向上を図り、コミュニケーション能力など、豊かな人間性を育む教育の推進につながった。 ○生徒の基礎学力の向上や豊かな人間性を育てる教育を継続していくため、教職員の資質の向上や創意工夫による実践活動が必要である。								

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	教育委員会事務局
	項	02 小学校費						89.5%				
	目	02 小学校教育振興費	17,722千円	19,797千円	2,075千円	(参考)当初予算額						
	事業	01 小学校教育振興事業				23,408千円			課	学校教育課		
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実										
目的		副読本や学習教材を有効に活用するとともに、地域の特性を取り入れた学習指導を実践し、学力等の向上を図る。		主な財源		府補 きょうと地域連携交付金(教育振興事業) 4,900千円						
主要な事務・事業の概要		○報償費 1,240千円 ・入学記念品(400人分) 344千円 ・卒業記念品(371人分) 896千円		○使用料及び賃借料 3,101千円 ・自動車借上料 2,858千円 ・有料道路通行料 74千円 ・駐車場使用料 18千円 ・著作物使用料 151千円		○負担金、補助及び交付金 3千円 ・各種大会等参加負担金						
		○旅費 19千円 ・費用弁償(大地の学習講師費用弁償)		○需用費 11,207千円 ・消耗品費 11,033千円 学用品、理科実験用品、学力検査、指導書(教職員用)ほか ・燃料費 2千円 大地の学習指導者研修会送迎バス燃料 ・印刷製本費 172千円 社会科副読本「わたしたちのきょうたんご」428部 ※3・4年生用		○山陰海岸ジオパーク小学生駅伝競走大会参加料(橋小学校参加分) 開催日:令和4年10月29日 開催場所:兵庫県豊岡市日高町山田(奥神鍋高原周辺駅伝コース)		成果・課題 学校内での学習活動に加え、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を講じながら、可能な限り、各学校の創意工夫や独自性を活かした様々な社会活動、体験活動などの校外学習を行うことで、児童の基礎学力の向上や社会を生き抜く力を高めることができた。				
		○委託料 2,152千円 ・スクールバス定期外運行運転委託料										

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局					
	項	02 小学校費							10,508千円	10,916千円	408千円	96.2%	
	目	02 小学校教育振興費											(参考)当初予算額
	事業	02 小学校教育振興備品整備事業											
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実	主な財源	国補	理科教育設備整備費等補助金(1/2)	820千円								
目的	授業に必要な教材備品や学校図書を計画的に整備することで、児童の主体的、意欲的な学習活動を充実させ、学力の向上を図るとともに豊かな心を育む。		府補	きょうと地域連携交付金(教育振興事業)	2,400千円								
			寄附金	ふるさと応援寄附金	400千円								
主要な事務・事業の概要	<p>学習環境を整えるため、必要となる教材備品を購入した。図書については、充足率の向上に努めるよう整備を行うとともに、学校図書館蔵書管理システムを使用して管理を行った。</p> <p>○需用費 227千円 ・修繕料(教材備品の修繕)</p> <p>○役務費 12千円 ・家電リサイクル料(テレビ1台、洗濯機2台)</p> <p>○使用料及び賃借料 168千円 ・ソフトウェア使用料(全小学校分) (学校図書室蔵書管理システム用)</p>		<p>○備品購入費 10,101千円 ・教材備品整備 4,358千円 ・学校図書整備 3,505千円 (うち、ふるさと応援寄附金充当額 400千円) ・理科・算数備品整備 2,238千円</p>										
			成果・課題	<p>学習指導要領の下、必要な学習教材、教育備品及び学校図書の整備に努めるとともに、理科備品については、国の補助金を活用し計画的に整備することで、学習指導要領に沿った学習環境を整えることができた。</p>									

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局											
	項	02 小学校費							19,691千円	21,034千円	1,343千円	93.6%							
	目	02 小学校教育振興費											(参考)当初予算額						
	事業	03 小学校就学援助事業												25,052千円					
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実	主な財源	国補	就学援助費補助金(1/2)	35千円														
目的	要保護者、準要保護者及び特別支援学級に入級する児童の保護者等の経済的負担を軽減する。		国補	特別支援教育就学奨励費補助金(1/2)	825千円														
			諸収入	過年度就学援助費返還金	51千円														
主要な事務・事業の概要	<p>○就学援助費 17,952千円 ・要保護認定者 11人(R3:12人) 71千円 修学旅行費 35千円 医療費 36千円 ・準要保護認定者 240人(R3:254人) 16,476千円 学用品費等 4,226千円 給食費 9,514千円 修学旅行費 1,082千円 医療費 48千円 オンライン学習通信費 1,606千円 ・準要保護認定者(被災児童) 0人(R3:1人) ※申請者数 282人(R3:283人) 認定者数 251人(R3:264人) ・令和5年度新入学児童生徒学用品費入学前支給分 1,405千円 支給者数 26人 ※令和5年2月17日支給</p> <p>○就学援助世帯貸出Wi-Fiルーター貸出 14千円 ・貸出者数 4人</p>		<p>○特別支援教育就学奨励費 1,725千円 ・対象者 61人(R3:45人) 学用品費等 571千円 給食費 1,071千円 修学旅行費 57千円 通学費(交通費) 26千円 ※支給者数 7人</p> <p><参考> 対象児童数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>R元</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>就学援助費</td> <td>255人</td> <td>271人</td> <td>264人</td> <td>251人</td> </tr> <tr> <td>就学奨励費</td> <td>33人</td> <td>49人</td> <td>45人</td> <td>61人</td> </tr> </tbody> </table>		年度	R元	R2	R3	R4	就学援助費	255人	271人	264人	251人	就学奨励費	33人	49人	45人	61人
	年度	R元	R2	R3	R4														
就学援助費	255人	271人	264人	251人															
就学奨励費	33人	49人	45人	61人															
		成果・課題	<p>○就学に必要な学用品費、給食費、修学旅行費等を支援に加え、新たに障害のある児童生徒の通学費、オンライン学習通信費支援することで、対象生徒の保護者の経済的負担を軽減することができた。 ○新入学児童生徒学用品費の入学前支給を行ったことで、新入学生徒の保護者の経済的負担を軽減することができた。 ○制度内容の周知を徹底するとともに、世帯状況や家計状態などを考慮し、公正かつ適正な援助に引き続き努める必要がある。</p>																

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	教育委員会事務局	
	項	03 中学校費	25,955千円	26,139千円	184千円	99.2%	(参考)当初予算額	26,967千円	課	学校教育課			
	目	02 中学校教育振興費											
	事業	01 中学校教育振興事業											
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実	主な財源		国補	地方創生推進交付金	518千円	府補	きょうと地域連携交付金（教育振興事業）	7,200千円			
目的	副読本や学習教材を有効に活用するとともに、地域の特性を取り入れた学習指導の実践や部活動、体育大会等への参加を支援し、学力等の向上を図る。												
主要な事務・事業の概要	○報償費		1,255千円	○委託料		11,581千円							
	・入学記念品（409人分）		266千円	・スクールバス定期外運行運転委託料		10,545千円							
	・卒業記念品（437人分）		989千円	・産学連携事業委託料		1,036千円							
				i情報経営イノベーション専門職大学との連携事業									
				※中学校の技術科授業におけるプログラミング教育の指導実践支援									
○需用費		9,379千円	○使用料及び賃借料		124千円								
・消耗品費		8,978千円	・著作物使用料										
学用品、理科実験用品、学力検査、指導書（教職員用）ほか													
・印刷製本費		401千円	○負担金、補助及び交付金		3,532千円								
社会科副読本「京丹後市の歴史」450部			・体育大会等選手派遣費補助金										
※令和5年度入学の中学1年生用													
○役務費		84千円	成果・課題										
・楽器（ティンパニ、チューバほか）運搬手数料（峰山・大宮中学校）			○学校内での学習活動に加え、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を講じながら、可能な限り、各学校の創意工夫や独自性を活かした様々な社会活動、体験活動などの校外学習を行うことで、生徒の基礎学力の向上や社会を生き抜く力を高めることができた。										
			○中学校技術科において、i情報経営イノベーション専門職大学のプログラミング教育の高い専門性と実施のノウハウを現場に取り入れるべく、全中学校の技術教員を対象に授業の研修会を実施し、MESH（プログラミング教育教材）を使った授業を実践することができた。										

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	教育委員会事務局	
	項	03 中学校費	10,874千円	11,078千円	204千円	98.1%	(参考)当初予算額	11,106千円	課	学校教育課			
	目	02 中学校教育振興費											
	事業	02 中学校教育振興備品整備事業											
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実	主な財源		国補	理科教育設備整備費等補助金（1/2）	912千円	府補	きょうと地域連携交付金（教育振興事業）	2,500千円			
目的	授業に必要な教材備品や学校図書を計画的に整備することで、生徒の主体的、意欲的な学習活動を充実させ、学力の向上を図るとともに豊かな心を育む。				寄附金	ふるさと応援寄附金	100千円						
主要な事務・事業の概要	学習環境を整えるため、必要となる教材備品を購入した。図書については、充足率の向上に努めるよう整備を行うとともに、学校図書館蔵書管理システムを使用して管理を行った。				○備品購入費		10,311千円						
					・教材備品		3,216千円						
					・学校図書		1,399千円						
					（うち、ふるさと応援寄附金充当額 100千円）								
○需用費		284千円	・理科備品		2,200千円								
・修繕料（教材備品の修繕）			・音楽備品		1,829千円								
○役務費		220千円	・プログラミング教材備品		1,667千円								
・楽器調整手数料（大宮、久美浜中学校分）			（MESHブロック（プログラミング教育教材）ほか）										
○使用料及び賃借料		59千円	成果・課題										
・ソフトウェア使用料（全中学校分）			○学習指導要領の下、必要な学習教材、教育備品及び学校図書の整備に努めるとともに、理科備品については、国の補助金を活用し計画的に整備することで、学習指導要領に沿った教育環境を整えることができた。										
（学校図書室蔵書管理システム用）			○各中学校の技術科授業において、i情報経営イノベーション専門職大学のプログラミング教育の授業実践と指導方法等の助言を受けた技術教員により、プログラミング教材（MESHブロック）を用いた授業を実践することができた。										

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	03 中学校費	18,894千円	19,641千円	747千円	96.1%		
	目	02 中学校教育振興費				(参考)当初予算額	課	学校教育課
	事業	03 中学校就学援助事業				24,489千円		
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実	国補				就学援助費補助金(1/2)	54千円	
目的	要保護者、準要保護者及び特別支援学級に入級する生徒の保護者等の経済的負担を軽減する。	主な財源	国補	特別支援教育就学奨励費補助金(1/2)	622千円			
			国補	特別支援教育就学奨励費補助金(1/2)	622千円			
主要な事務・事業の概要	○就学援助費	17,450千円	○就学援助世帯貸出用Wi-Fiルーター貸出	19千円				
	<ul style="list-style-type: none"> 要保護認定者 12人 (R3:8人) <ul style="list-style-type: none"> 修学旅行費 107千円 準要保護認定者 129人 (R3:142人) <ul style="list-style-type: none"> 学用品費等 5,748千円 給食費 4,745千円 修学旅行費 2,674千円 医療費 4千円 オンライン学習通信費 1,421千円 準要保護認定者(被災児童) 2人 (R3:1人) <ul style="list-style-type: none"> 学用品費等 99千円 給食費 72千円 <p>※申請者数 152人 (R3:166人) 認定者数 141人 (R3:148人)</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和5年度新入学児童生徒学用品費入学前支給分 支給者数 45人 ※令和5年2月17日支給 	14,592千円	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育就学奨励費 1,425千円 対象者 27人 (R3:29人) <ul style="list-style-type: none"> 学用品費等 576千円 給食費 473千円 修学旅行費 199千円 通学費(交通費) 177千円 ※支給者数 1人 					
成果・課題	<p>○就学に必要な学用品費、給食費、修学旅行費等の支援に加え、新たに障害のある児童生徒の通学費、オンライン学習通信費支援することで、対象生徒の保護者の経済的負担を軽減することができた。</p> <p>○新入学児童生徒学用品費の入学前支給を行ったことで、新入学生徒の保護者の経済的負担を軽減することができた。</p> <p>○制度内容の周知を徹底するとともに、世帯状況や家計状態などを考慮し、公正かつ適正な援助に引き続き努める必要がある。</p>							

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局																																							
	項	01 教育総務費	56,940千円	57,945千円	1,005千円	98.2%																																									
	目	02 事務局費				(参考)当初予算額	課	学校教育課																																							
	事業	18 学校情報化推進事業				59,637千円																																									
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実	国補				新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	24,500千円																																								
目的	小中学校の情報通信ネットワークの整備・維持管理を行うとともに、情報管理の徹底と学校情報化を行う。また、ICTを活用した学習環境を推進する。	主な財源	国補	公立学校情報機器整備費補助金(1/2)	660千円																																										
			国補	公立学校情報機器整備費補助金(1/2)	660千円																																										
主要な事務・事業の概要	○需用費	3,332千円	<p><参考>パソコン等台数(令和5年3月末時点)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>種別</th> <th>小学校</th> <th>中学校</th> <th>事務局</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">普通教室用</td> <td>ノートPC</td> <td>17</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>タブレット</td> <td>146</td> <td>303</td> <td>0</td> <td>449</td> </tr> <tr> <td>タッチパネル式電子黒板</td> <td>146</td> <td>57</td> <td>0</td> <td>203</td> </tr> <tr> <td>校務用</td> <td>ノートPC</td> <td>280</td> <td>198</td> <td>39</td> <td>517</td> </tr> <tr> <td>図書室用</td> <td>ノートPC</td> <td>17</td> <td>6</td> <td>0</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>授業用</td> <td>iPad</td> <td>2,691</td> <td>1,544</td> <td>17</td> <td>4,252</td> </tr> </tbody> </table>					区分	種別	小学校	中学校	事務局	合計	普通教室用	ノートPC	17	0	0	17	タブレット	146	303	0	449	タッチパネル式電子黒板	146	57	0	203	校務用	ノートPC	280	198	39	517	図書室用	ノートPC	17	6	0	23	授業用	iPad	2,691	1,544	17	4,252
	区分	種別						小学校	中学校	事務局	合計																																				
普通教室用	ノートPC	17	0	0	17																																										
	タブレット	146	303	0	449																																										
	タッチパネル式電子黒板	146	57	0	203																																										
校務用	ノートPC	280	198	39	517																																										
図書室用	ノートPC	17	6	0	23																																										
授業用	iPad	2,691	1,544	17	4,252																																										
<ul style="list-style-type: none"> パソコン・校内LAN関連消耗品 12千円 パソコン・校内LAN関連修繕費(40件) 3,320千円 	1,302千円	<ul style="list-style-type: none"> 通信運搬費 1,106千円 手数料(電子黒板等移設・ごみ持込処理) 196千円 	<ul style="list-style-type: none"> 委託料 26,589千円 サーバーシステム・パソコン・校内LAN等保守委託料 4,886千円 機器設備撤去及び運搬委託料等(各校情報教室機器等) 2,283千円 校務支援システム保守委託料 729千円 ICT支援員業務委託料(5人) 10,907千円 校務支援システムデータセンター移行業務委託料 5,170千円 校内LAN構築委託料 2,614千円 	<p>○校務支援システムをクラウドへ移行し、管理コストの削減を図った。</p> <p>○ネットワークを利用した遠隔操作等により、小中学校等に整備した校内LAN、パソコン(校務、普通教室、タブレット)、電子黒板及びサーバー機器、並びにGIGAスクール情報機器等整備事業にて導入したタブレット、プリンタ、電子黒板接続装置等の維持管理を効果的かつ適切に行うことができた。</p> <p>○引き続き、ICT支援員を適切に配置しながら、ICT機器や授業支援システムを積極的に利活用し、授業改善につなげていく必要がある。</p>																																											
<ul style="list-style-type: none"> ○使用料及び賃借料 25,708千円 パソコン借上料(校務用パソコン 575台) 17,366千円 ソフトウェア使用料(校務支援システム等) 8,193千円 クラウドサービス利用料(データセンター使用) 149千円 ○備品購入費(校務用プリンタ購入1台) 9千円 	9千円																																														

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	教育委員会事務局
	項	01 教育総務費	4,020千円	4,223千円	203千円	95.1%	(参考)当初予算額					
	目	02 事務局費						4,438千円	課	学校教育課		
	事業	20 国際交流員招致事業										
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源									
目的	一般財団法人自治体国際化協会の「語学指導等を行う外国青年招致事業（JETプログラム）」を活用して国際交流員を任用し、現代社会のグローバル化に対応する。											
主要な事務・事業の概要	国際交流員を学校教育課に配置し、国際交流や異文化理解について、その専門性や見識や経験を大いに活かした指導、助言を行った。				○自治体国際化協会負担金		474千円					
	○会計年度任用職員（国際交流員）任用経費（1人）		3,430千円		・来日直後オリエンテーション参加費用負担金		103千円					
	・報酬		2,962千円		・国際交流員人員割、傷害保険負担金		113千円					
	（期間：令和4年5月17日から令和5年3月31日）				・来日渡航費用負担金		258千円					
・共済費（社会保険料、雇用保険料）		468千円										
○招致、研修経費		77千円										
・費用弁償、普通旅費		71千円										
・有料道路通行料		5千円										
・駐車場使用料		1千円										
○国際交流員の賃貸住宅に係る経費		39千円										
・住居の火災保険料、仲介手数料、礼金		32千円										
・消耗品費		7千円										
				成果・課題		○国際交流員を配置し、その専門性や経験を活かし国際理解教育やグローバル人材育成の推進を図ることができた。 ○継続的な任用のため、国際交流員の心身の負担を軽減できるような生活面におけるサポートの充実が必要である。						

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	教育委員会事務局
	項	01 教育総務費	27,499千円	27,554千円	55千円	99.8%	(参考)当初予算額					
	目	04 奨学費						42,119千円	課	教育総務課		
	事業	01 奨学金事業										
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源									
目的	経済的に困窮している世帯で勉学意欲のある生徒や学生に対し、奨学金の給付及び貸付を行い、就学を支援する。											
主要な事務・事業の概要	経済的に困窮している世帯（家庭）で勉学意欲のある大学生等を対象に奨学金を給付した。また、令和4年度大学等在学者及び令和5年度大学等進学予定者を対象に、奨学金の貸付を行った。				○奨学金貸付金		4,964千円					
	○奨学金選考・検討委員会に係る経費（2回開催）		63千円		・修学支援金（3人）		1,464千円					
	・委員報酬 4千円（半日）× $\left(\begin{array}{l} 6人 \times 1回 \\ 7人 \times 1回 \end{array} \right)$		52千円		大学生等 1,000千円×1人							
	・費用弁償		11千円		大学生等 232千円×2人							
○奨学金給付金		792千円		・入学支度金（5人）		3,500千円						
・大学生等（6人）				進学予定者 700千円×5人								
月額12千円×12月×3人（前・後期）		432千円		○定住促進奨学金返還支援制度		21,680千円						
月額10千円×12月×3人（前・後期）		360千円		・広報チラシ印刷製本費		37千円						
				・大学等へのチラシ送料		52千円						
				・補助金（120人）		21,591千円						
				成果・課題		○勉学意欲と能力のある生徒及び学生への就学支援を行うことにより、困窮世帯の生徒及び学生が勉学に取り組むための環境を整えることができた。 ○新型コロナウイルス感染症の影響等により経済状況が一層厳しい中で、給付奨学金の随時申請や奨学金返還猶予など制度を周知し、支援に努めた。 ○令和3年度に創設した定住促進奨学金返還補助事業について、制度周知に努めた結果、交付初年度となる令和4年度、多くの交付につながった。						

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	01 教育総務費	721千円	722千円	1千円	99.8%		課
	目	04 奨学費				(参考)当初予算額		
	事業	02 奨学基金	12千円					
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源	財産収入	奨学基金利子収入	36千円		
目的	経済的理由により大学等への修学が困難な者に対し、奨学金を給付することを目的とした奨学基金への積立金		諸収入	奨学資金貸付償還金滞納繰越分	685千円			
主要な事務・事業の概要	○奨学基金積立金		721千円					
	・旧網野町で貸し付けた奨学資金償還金分		685千円					
	・利子分		36千円					
		(単位：千円)						
	令和3年度末	令和4年度中増減額			令和4年度末			
	現在高	繰入金	運用利子	積立金	現在高			
	①	②	③	④	①-②+③+④			
	136,389	792	36千円	685千円	136,318			
	(充当：1事業)							
	・奨学金事業		792千円					
			成果・課題					

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	01 教育総務費	2,845千円	2,846千円	1千円	99.9%		課
	目	04 奨学費				(参考)当初予算額		
	事業	03 谷口謙・未来応援基金	1,899千円					
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源	財産収入	谷口謙・未来応援基金利子収入	23千円		
目的	経済的理由により大学等への進学及び修学が困難な者に対し、奨学金を貸し付けることを目的とした谷口謙・未来応援基金への積立金		諸収入	奨学資金貸付償還金	2,772千円			
主要な事務・事業の概要	○谷口謙・未来応援基金積立金		2,845千円					
	・京丹後市貸付奨学金で貸し付けた奨学資金償還金分		2,822千円					
	・利子分		23千円					
		(単位：千円)						
	令和3年度末	令和4年度中増減額			令和4年度末			
	現在高	繰入金	運用利子	積立金	現在高			
	①	②	③	④	①-②+(③+④)			
	70,901	4,964	23	2,822	68,782			
	(充当：1事業)							
	・奨学金事業		4,964千円					
			成果・課題					